

Aコース：『嘉納治五郎とオリンピック・レガシー』

■行程

《集合》JR 両国駅 8時50分(復興記念館まで徒歩で移動します)

復興記念館→隅田公園(車窓見学)→筑波大学附属高等学校・桐蔭会館→講道館→新国立競技場(車窓見学)→代々木公園→(車中にて昼食)→1964年大会・マラソン折返し地点→駒澤オリンピック記念公園→東京駅

《解散》東京駅17時頃予定

■講師

真田 久 氏(筑波大学教授/日本オリンピックアカデミー理事)

■見どころ

2020年東京オリンピック・パラリンピック大会開催を一年後に控え、今回は講師に日本オリンピックアカデミー理事で筑波大学教授の真田久先生をお迎えし、都内各所のオリンピック・レガシーをご案内して頂きます(真田先生は現在放送中の大河ドラマ『いだてん』の監修もされています)。日本のスポーツ振興とオリンピック招致の立役者である嘉納治五郎の事蹟を訪ねて、筑波大学附属高校(旧東京高等師範学校)の資料室や講道館(柔道資料館)を見学します。また1964年東京大会ゆかりの地として代々木公園の選手村跡や駒澤オリンピック記念公園などを訪ねます。

Bコース：『船とバスでめぐる大江戸観光～江戸の名所をめぐる～』

■行程

《集合》三越前駅B6出口(東京メトロ) 9時20分

日本橋→東京クルーズ→昼食(楠公レストハウス)→すみだ北斎美術館→向島百花園→横十間川・神明橋→亀戸天神→東京駅

《解散》東京駅17時頃予定

■講師

中里 裕司 氏(聖徳大学兼任講師・立正大学非常勤講師)

■見どころ

船に乗って普段の史跡見学ではなかなか見られない川から見た江戸の歴史を中心にじっくりと見ていきます。すみだ北斎美術館では、解説だけでなく、門外不出の方針を現在も貫いているスミソニアン協会フーリア美術館の全面協力のもと、日本でも知られることがなかった幻のコレクションの中で北斎の肉筆画を、高精細複製画で見ていくとともに、当館に展示している富嶽三十六景の波の表現などの比較もしていきます。その後、北斎ゆかりの地を巡り、江戸の文化や歴史を探訪していきます。